

山口県中小企業団体中央会  
Small Business Associations of the Yamaguchi Pref.

# 中央会やまぐち

特集

- ①第77回中小企業団体全国大会を開催
- ②令和8年度山口県の施策・予算に関する要望書を提出

Close Up組合 ..... 協同組合いわくにアグリパートナーズ  
中央会TOPICS  
組合TOPICS  
景況動向



12

2025  
DEC

Vol.812



第77回中小企業団体全国大会





理事長  
岡本 修氏

# Close Up組合

クローズアップ

## 協同組合いわくにアグリパートナーズ

〒740-0031 岩国市尾津町5丁目11番1号

TEL 0827-32-1346

URL <https://www.iwakuniagripartners.com/>

理事長 岡本 修



## 新しい農業の形を目指し 岩国から農業を活性化する

### 組合の概要

本組合は農家や食品製造業者、小売・卸売事業者等が集まり、農産加工品の共同開発および販売等を通じて、農業の活性化に取り組んでいます。

多くの農家は農業生産以外の事務・梱包・配送・営業・販売作業に多大な時間と工数を割いており、生産活動に注力することが難しい現状にあります。そこで本組合では、八百屋や卸売店が長年培った目利き力、「何を作っていつどのようにして売るか」という販売ノウハウに沿って農家の生産支援を行い、農家が「日々、いかに美味しい野菜を効果的に生産するか」に注力することでよりよい商品をつくり、より多くの人に届けることをゴールに活動を行っています。

### これまでの取り組みについて

農産加工に関わる異業種が組合員になっていることを強みに、販売店が売れる商品を農家と製造業者、販売業者がともに作る商品開発事業に力を入れて取り組んでいます。これまでは梅干し、わさびの醤油漬け、ゆず大根漬け、切り干し大根等を開発してきました。

組合で開発した商品を多くの方に知っていただくためのPR活動にも積極的に取り組んでいます。令和6年9月には、ご支援いただいた方にリターンとして商

品をお送りする他、商品の命名権や新商品開発への参加権を提供するクラウドファンディングを実施、目標金額30万円に対し、50万円以上の支援をいただくことができました。

いわくにアグリパートナーズを設立。農家を支援する協同組合の今後の活動を応援をお願いします！



### 今後の展望

現在、新たな商品として、クラウドファンディングに支援いただいた方と共同で企画した「奈良漬タルタルgeorge—醸時—」を開発しています。奈良漬の風味が和の伝統を感じさせる一品となっています。



また首都圏等への販路拡大を目的に県外の大規模食品展示会等への出展も積極的に行っています。

今後も、岩国市の米や野菜、それらを活用した加工品の開発および販売を通じて、農家の販路確保・安定的な生産を支援し、岩国から農業を活性化するための様々な取り組みを行っていきます。





全国中小企業団体中央会・広島県中小企業団体中央会は、11月12日(木)、「広島県立総合体育館（広島グリーンアリーナ）」（広島県広島市）において、「第77回中小企業団体全国大会」を開催しました。全国から中小企業団体の代表者約2,100名が参集し、山口県からは矢敷会長を始め33名が参加しました。

はじめに、森洋・全国中小企業団体中央会会長の開会挨拶と伊藤學人・広島県中小企業団体中央会会長から開催地挨拶がありました。

また、鈴木憲和・農林水産大臣からのビデオメッセージが披露されるとともに、越智俊之・経済産業大臣政務官、山田雅彦・厚生労働審議官、山根健嗣・広島県副知事、中井幹晴・広島市長副市長、関根正裕・株式会社商工組合中央金庫代表取締役社長よりご祝辞を頂戴しました。

その後、伊藤學人・広島県中央会会長が議長に、岩崎陽一・鳥取県中央会会長、櫻井一郎・熊本県中央会会長がそれぞれ副議長に選任されて議事が進行し、「中小企業・小規模事業者等の経営環境変化対応、成長促進支援等の拡充」、「中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進」、「中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備」など15項目を決議しました。

また、野村泰弘・大阪府中央会会長が意見発表を行い、本大会の意義を内外に表明するため、河合修孝・広島県中小企業団体青年中央会会長が「大会宣言」を高らかに宣しました。



全国大会の様子



表彰式の様子



受賞者の皆さん

（左から）船崎美智子氏 平尾泰範氏 濱田勝馬氏 弘中善昭氏

併せて、本大会では、優良組合（38組合）、組合功労者（73名）、中央会優秀事務局専従者（25名）の表彰が執り行われ、山口県からは優良組合として、下関南風泊水産団地協同組合（平尾泰範理事長）、組合功労者として、弘中善昭氏（日立笠戸協同組合理事長）、船崎美智子氏（ライフスタイル協同組合理事長）、濱田勝馬氏（宇部鉄工業協同組合理事長）が全国中小企業団体中央会会長より表彰されました。

次期全国大会については、令和8年11月19日(木)に、熊本県熊本市において開催することが決定しました。

中央会では、今年の8月から9月にかけて実施した移動中央会等において、会員の皆様からお聞きしたご意見・ご要望を取りまとめ、国や山口県の施策・予算に反映していただくよう、要望活動を展開しているところです。

その一環として、10月29日(水)、矢敷会長、喜多村副会長、田村副会長、坪野副会長、坂本専務理事が村岡山口県知事を訪ね、直接要望書を提出しました。はじめに矢敷会長が、「社会経済の構造的な課題や消費者の価値観の変化など、厳しい経営環境にある県内中小企業に対する強力な支援を」との要望趣旨を述べた後、各副会長からも深刻な人材不足、DXの一層の推進及び価格転嫁の困難さなどについて意見を述べました。

これに対し知事からは、中央会の活動に対する謝辞とともに、「要望については、施策・予算検討の参考にし、しっかり対応できるよう考慮したい。」との言葉をいただきました。

また、これに先立ち、10月21日(火)には、自由民主党山口県支部連合会主催の政策聴聞会で、10月27日(月)には、公明党山口県本部主催の政策懇談会で、それぞれ坂本専務理事より要望書を提出しました。

今後とも、会員の皆様の声を、国や県にしっかりと届けてまいります。



村岡県知事に要望書を提出



村岡知事と三役との記念撮影



自由民主党山口県支部連合会に提出



公明党山口県本部に提出

## 「令和8年度山口県の施策・予算に関する要望書」概要

### 1 収益を確保し持続的に賃上げできる環境整備の強化

- (1) **最低賃金の大幅な引き上げに対する支援**  
最低賃金大幅な引き上げに苦慮する中小・小規模事業者を対象とした、支払い原資の確保に向けた支援
- (2) **業績の改善・向上、経営の効率化等に向けた支援の強化**  
「賃上げ環境整備応援奨励金」等の再度の措置、省力化・省エネ・業務効率化等の取組に対する、申請方法が簡素で補助率の高い補助金の創設
- (3) **価格転嫁・取引適正化推進に向けた対策の強化**  
業界に対する啓発・取組への支援、不当事案に対する通報窓口の設置、消費者の理解促進など、価格転嫁が進むような環境整備の推進



## 2 経済社会の変化に対応し持続的に発展するための支援の拡充強化

- (1) **苦境に立つ地域を支える業界・企業等への支援**  
地域や業界の現状を踏まえ、住民生活を維持していく視点に立って、業界の将来を見据えた調査・研究、ビジョンの作成・実現に向けた取組の積極的な支援
- (2) **DX、デジタル化等による新たな成長・持続的発展に向けた取組への支援**  
業務の効率化、生産性の向上、高付加価値化の取組に対する効果的な支援策、AIの活用やDXのシステム・設備の導入経費に対する支援の拡充
- (3) **中小企業等の脱炭素化・GXの促進に向けた支援**  
具体的に取り組む事業者に対する優遇措置の拡充、中小企業組合等連携組織等による共同の取組に対する助成の強化
- (4) **中小企業等の危機管理対策強化に向けた取組への支援**  
山口県独自のBCP認定制度の創設と認定企業へのメリットの付与など、BCP策定・推進を実感できる具体的な支援の拡充

## 3 労働力減少下における人材確保・育成、事業承継対策の強力な推進

- (1) **中小企業等の実態を踏まえた人材確保・育成対策の拡充強化**  
労働条件・職場環境の改善・人材開発・情報発信・採用活動への支援、若者の県内就職・定住促進・UJIターン就職等への支援、女性・高齢者の就業に繋がる環境整備等への支援
- (2) **外国人材の活用と選ばれる県となるための取組の強化**  
外国人材確保・定着に係る補助対象企業・経費の拡大、育成就労制度の円滑な導入（技能検定の県内実施拡大等）、送り出し側の国との積極的な交流・連携等の拡大・推進
- (3) **技術・技能者不足が深刻化する業界の人材確保対策の拡充強化**  
業界のニーズを捉えた技術・技能者の養成、工業系高校の維持・拡充、技能検定試験の受験者数増加、資格取得・教育訓練に対する助成、年少期からのものづくり体験等への支援
- (4) **働き方改革に伴う課題に直面する業界への支援**  
労働者の主体的で柔軟な働き方の尊重、運輸業における担い手の確保・定着、物流システムの効率化等への支援、建設工事における下請事業者等への週休二日制の確保
- (5) **担い手不足の中小企業等の経営持続・事業承継に対する支援**  
後継者に対する集中的な情報提供や啓発、専門家派遣による無料相談事業の拡大、M&Aへの助成、事業承継に向けたロードマップの提示等事業承継スキーム構築への支援

## 4 官公需対策の強力な推進

- (1) **地域中小企業等への受注機会・受注額の確保**  
官公需予算の安定的・継続的な確保及び地域中小企業への優先発注、官公需適格組合への受注機会の確保、公共工事の資材・製品や学校給食等の食材等、県産材の活用強化
- (2) **コスト上昇に対する適切な対応**  
調査機関の設計価格の設定期間の短縮、燃料・原材料費・人件費・輸送費等の予定価格への適確かつ速やかな反映、役務提供・物品購入の適正価格での受注促進の強化
- (3) **公共工事の適切な執行**  
公共工事の発注に当たり、年間を通しての平準化、現場の実態を考慮した、適切かつ柔軟な工期の設定
- (4) **特定課題を抱える業界への支援**
  - ① 道路・港湾関連施設の整備促進
  - ② 学校水泳授業の民間委託
  - ③ 青海島岩カキの種子確保

## 5 地域の課題解決・活性化に取り組む事業者の支援の拡充強化

- (1) **地域の活性化・まちづくりに取り組む組合等への支援**  
イベント補助金事業の対象者拡大、地域ブランド商品の開発支援、デスティネーションキャンペーンに呼応した取組の拡大やインバウンド需要確保への支援、キャッシュレス決済手数料の引下げへの支援
- (2) **地域の安心・賑わいを担う商店街に対する支援**  
データマーケティングや決裁システム構築等の取組支援、空き店舗の活用やアーケード等の補修・整備・撤去等への支援
- (3) **企業組合に対する支援の拡充**  
地域と一体となった事業維持の体制づくり、人材確保・育成、販路開拓への支援
- (4) **特定地域づくり事業協同組合の設立及び運営支援**  
市町や事業者の取組促進に対する支援、設立後の財産基盤確立のための支援

## 6 中小企業組合等連携組織の活用と支援の拡充強化

- (1) **事業環境の変化への対応を後押しするための組合等連携組織への支援**  
中小企業組合の設立や事業運営への支援の拡充強化
- (2) **中小企業団体中央会の指導体制・支援機能の拡充強化**  
中央会指導員の活動を質的・量的に強化するための予算の確保・拡充

※ 要望内容の詳細は、山口県中小企業団体中央会ホームページをご覧ください。



本会HPはこちら

## 「組合まつり in TOKYO」に出展

山口県中小企業団体中央会

10月29日(木)、30日(金)の2日間、東京都の東京国際フォーラムで開催された「組合まつり in TOKYO」に出展しました。

このイベントは、関東圏を中心に全国の中小企業組合等が各々の製品やサービスを紹介するもので、今年は130以上の中小企業組合等が参加しました。各出展ブースでの展示販売のほか、ゲストのお笑い芸人による組合紹介ステージや基調講演等もあり、組合の商品や技術を多くの方にPRする良い機会となりました。

本会では、山口県地域資源活用型企業組合連絡協議会の会員企業組合をはじめとする県内組合の農産加工品を取りまとめて展示販売しました。山口県にゆかりのある方が多く訪れ、首都圏の方に県内組合の魅力ある商品を広く紹介することができました。(連携支援部 宇多村)



## 商店街向けDXセミナー及び懇親交流会を開催

山口県中小企業団体中央会  
山口県商店街振興組合連合会

10月28日(火)、下関市唐戸の亀山八幡宮儀式殿にて、「商店街におけるDX活用とまちづくりへの展開」と題し研修会を開催しました。講師には、まちづくりプラン研究所代表の牧昭市氏と一般社団法人からまち副代表理事の梶原康弘氏を迎えました。また、商店街DXの取組を積極的に行い、経済産業省の「地域にかがやくわがまち商店街表彰2024」も受賞した唐戸商店街の取組の視察研修も実施しました。



郊外への大型店舗の出店やインターネット販売の普及などの影響を受けている商店街は今後より一層、顧客ニーズや属性、年代などを把握、分析し、効果的な広報やサービスを提供していく必要があります。セミナーではAIカメラでの人流行動分析やアプリによる顧客ニーズの把握などに成功している事例について学びました。

セミナー、視察研修終了後は参加者による懇親交流会を行い、各商店街の現状や取組などの意見交換を行い、県内商店街の横のつながりを深めることができました。(連携支援部 岡村)

## 「レディース中央会全国フォーラムinあいち」に出席

山口県中小企業団体中央会女性活躍推進協議会

10月29日(木)、名古屋市「ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋」にて「レディース中央会全国フォーラムinあいち」が開催され、本会女性活躍推進協議会宮本会長が出席しました。元参議院議員藤田医科大学特命教授名古屋大学客員教授の大塚耕平氏による基調講演の後、初めての取り組みとして、テーマ「地域の特色ある産業や取組み～地域や業種の垣根を越えたビジネスマッチングにむけて～」と題しグループディスカッションが行われました。フォーラム終了後の交流懇親会では、地元名古屋市の「どまつりダンスチームkagura」によるパフォーマンスも行われるなど、盛大に盛り上がりました。

(総務企画部 後)





## インドネシア中部ジャワ州にてビジネスマッチングフェアを開催 山口県外国人技能実習生受入組合協議会

本協議会は、インドネシア送り出し機関協会であるAP2LNと、インドネシア中部ジャワ州スマランにおいて、会員組合の監理団体と現地送り出し機関とのビジネスマッチングフェアを開催しました。日本側からは企業・組合等23名が参加し、インドネシア側からは、AP2LN中部ジャワ&ジョグジャカルタ地区部門に所属する約60名の参加がありました。

オープニングセレモニーでは、ジャワ伝統舞踊の演舞やインドネシア労働省関係者による歓迎の挨拶などがありました。セレモニーの後、日本側参加者は設置された各ブースにおいて、現地送り出し機関から各送り出し機関の特徴や得意分野等の説明を受けました。フェア2日目には、マッチングした監理団体と送り出し機関とで、送り出し機関の事務所や日本語学校等の視察を行ないました。  
(連携支援部 花田)



## 南予企業組合協議会との交流会を開催 山口県地域資源活用型企業組合連絡協議会 (やまぐちふるさとくらぶ)

11月13日(木)、本協議会と南予企業組合協議会との交流会を開催しました。南予企業組合協議会は、愛媛県南予地域にある地元農林水産物加工品を製造する企業組合の協議会であり、山口県と愛媛県の協議会同士の連携による販路開拓等を目的に、昨年度から交流事業を実施しています。



柳井市の柳井クルーズホテルにて開催した交流会には山口県から7組合11名、愛媛県から5組合6名が参加し、各組合の商品の試食を行いながらお互いの活動について理解を深めました。交流会のほか、企業組合うずしお母さんの店及び株式会社瀬戸内ジャムズガーデンでの先進事例視察も実施し、地域活性化のための取組等についてお話を伺いました。

(連携支援部 宇多村)

## 「共創体験チームクラフト」を開催 山口県中小企業団体中央会

11月8日(土)、宇部市のうべスタートアップにて「共創体験チームクラフト」を開催しました。

本イベントは、参加者が他者との「共創」を半日で体験できるワークショップとして企画し、参加者同士で即席チームを組み、ビジネスプランをブラッシュアップする体験を通じ、今後の事業に役立つ学びや刺激を得ることを目的としています。

株式会社三角形 代表取締役の福岡 佐知子氏など5名のメンターが各チームの事業アイデアのブラッシュアップを支援し、最後にはビジネスプラン発表を行いました。ゲーミフィケーションを活用した人事コンサルティング支援事業、滞在型観光事業、地域人材育成事業の3つのプランが発表され、参加者相互に大きな刺激を受けた会となりました。  
(連携支援部 平田)



## 「議事録や資料に活用できる生成AIツール研修会」を開催

山口県中小企業団体中央会

11月19日(木)周南会場、20日(金)小郡会場にて、「議事録や資料作成に活用できる生成AIツールについて学ぼう!」をテーマに研修会を開催しました。両日ともに株式会社アワセルブス代表の河口隆氏にご講演いただき、生成AIツールの紹介や議事録と資料の作成ワークがありました。議事録作成のワークでは、NotebookLMを使用して音声サンプルを読み込み、文字起こしやレポートを作成しました。

参加者からは「大変勉強になった、持ち帰り業務に生かしたい」といったお声を頂きました。

(総務企画部 藤井)



## 組合TOPICS

## インドネシアのディアン・ヌスワントロ大学で講演

ユー・アイ・ケイ協同組合



11月11日(火)、インドネシア・中部ジャワ州スマランにあるディアン・ヌスワントロ大学にて、日本語学科の学生に向けて、海外インターンシップと日本で働く為に必要な知識の習得を目的に、講演を行いました。

本組合の西山一夫顧問と人文学部バユ・アリヤント学部長とのトークセッションでは、山口県内の外国人材の就労状況や中小企業等における雇用情勢等についての説明がありました。また、組合員企業で働いている技能実習生の就労の様子を紹介し、実際に受入れをしている組合員企業の方々へのインタビューでは、大変、助かっており今後に期待している旨の話がありました。

(連携支援部 花田)

## 萩のうつわ陶器市「弐萩祭」を開催

萩焼協同組合

10月31日(金)～11月4日(火)、萩市の萩・明倫学舎にて、山口県の伝産品である“萩焼”の「今」を広く一般の方々に向けて紹介するためのイベント「弐萩祭」を開催しました。

イベントでは5000点を超える萩焼作品の展示販売を行ったほか、新作の発表展や萩焼の鉢を使用した鉢植え体験の行えるワークショップ、萩焼の器を使用したレストランでのランチ提供や喫茶コーナーでの抹茶、コーヒーの提供など多方面から萩焼を体験できる内容で実施しました。また、普段市内各所に設置している「萩焼ガチャ」をイベント会場へ集めて設置しました。この「萩焼ガチャ」では、ぐい呑みや箸置き、アクセサリーなど、可愛らしい作品から本格的な作品を取り揃え、器としての萩焼以外の面でPRを行いました。イベント期間で5000人を超える来場があり、多くの方に萩焼のPRを行うことができました。

(連携支援部 岡村)





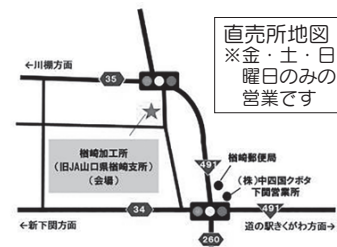
## 直売所グランドオープンセレモニーを開催

企業組合さくら工房菊川

本組合は、下関市菊川地域の農産物を原材料に、巻き寿司やおはぎ等の惣菜・菓子等を製造販売することを目的に、令和7年7月に設立されました。

この度、加工場併設の直売所をグランドオープンするにあたり、11月21日(金)にオープニングセレモニーを開催しました。セレモニーでは、巻き寿司をテープに見立てて包丁でカットする、テープカットならぬ「巻き寿司カット」を行いました。当日は地元住民や関係機関など、多くの方にご来店いただきました。またオープン特典として、先着50名に紅白餅のプレゼントも行いました。

今後は、加工場併設の直売所の他、下関市内のスーパーやイベント会場等での販売を行う予定としています。(連携支援部 宇多村)



## 山口県女性創業応援「オレンジミーティング」を開催

ライフスタイル協同組合

10月29日(水)、周南市cafe元気スイッチにて、創業を目指す方や創業後ステップアップしたい女性の交流とステップアップの場として、「オレンジミーティング」を開催しました。先輩創業者として、Fleur Parler恵良桂



衣氏と、フォト・オフィス・マザーリーフ渡辺美沙氏より、起業から現在に至るまでの体験談が紹介されました。選ばれるサービスの法則や事業を長く継続する難しさへの工夫が話され、参加者は熱心に話に聞き入っていました。講演後は、参加者同士の交流会が行われ、参加者にとって新しい出会いや貴重な気づきを得られる時間となりました。

(連携支援部 平田)

## 令和7年山口県選奨 受賞おめでとうございます

### 産業功労

現 山口県商店街振興組合連合会 副理事長

熊 野 嘉 寛 様

### 産業功労

現 一般社団法人山口県トラック協会 副会長  
(柳井輸送コンビナート協同組合 理事長)

山 縣 正 様

### 保健衛生・環境功労

現 山口県環境整備事業協同組合 副理事長

柴 田 裕 介 様

### 保健衛生・環境功労

現 山口県飲食業生活衛生同業組合 副理事長

中 谷 泰 様

## 4 組合を「モデル組合」に認定します

モデル組合の募集に際し、多くの組合から応募いただきありがとうございました。

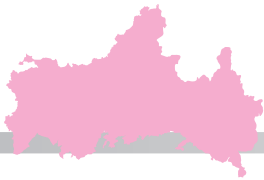
外部委員を含めた審査会での審査を経て、「共同事業を活発に行いつつ、組合員企業の持続的発展に向けた将来像を有し、他の組合の模範となる組合」として、以下の4組合を「モデル組合」に認定することに決定しました。認定した組合の取組については、今後、会報や各種会議等において紹介させていただくこととしています。

◆協同組合唐戸商店会

◆山口県瓦工事業協同組合

◆協同組合下関造園クラブ

◆山口県自動車車体整備協同組合



# 月次景況調査結果

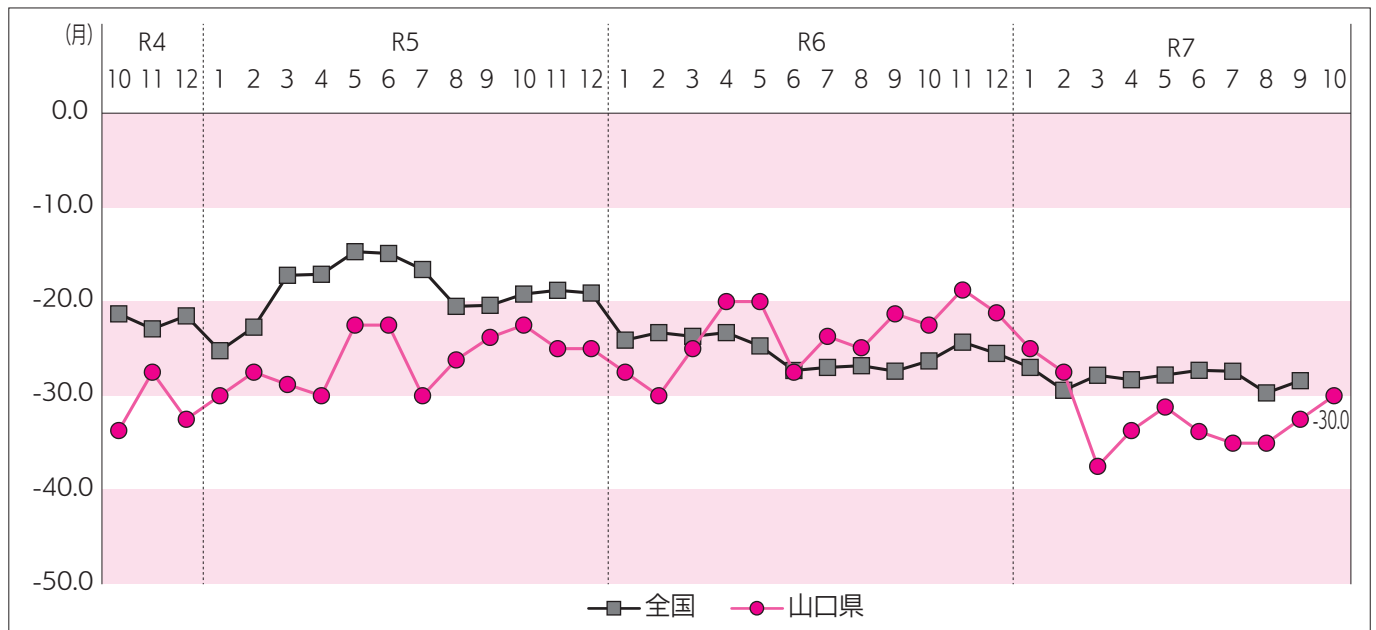
令和7年10月期

自動車関連の一般機器製造業や輸送機器製造業等において受注が減少傾向にある一方、好天やイベント開催等により、小売業・商店街、サービス業等の売上が増加したことから、10月期の全体の景況DI値は上昇した。










しかしながら、高騰が続く原材料・エネルギー価格に応じた価格転嫁が十分にできず収益の改善が見込めないことや、最低賃金の大幅な引き上げによる人件費の上昇や人材確保の困難さ等を懸念し、先行きを楽観視する声はない。

## 業界の景況DI値の推移 — 全国平均との比較 —

※DI値(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標です。  
DI値(前年同月比) = 増加・好転組合割合 - 悪化組合割合



## 項目別のDI値

項目	前年同月比			前月比
	R 7.9月	R 7.10月		
売 上 高	▲22.5	▲22.5		→
在 庫 数 量	▲16.0	▲8.0		↗
販 売 価 格	27.5	25.0		↘
取 引 条 件	▲15.0	▲13.8		↗
収 益 状 況	▲26.3	▲26.2		↗
資 金 繰 り	▲12.5	▲10.0		↗
設備操業度	▲18.7	▲12.5		↗
雇 用 人 員	▲11.3	▲10.0		↗
業界の景況	▲32.5	▲30.0		↗

### DI値

30以上…………… ☀ -30以上-10未満 ☁  
10以上30未満…………… ☁ -50以上-30未満 ☁  
-10以上10未満…………… ☁ -50未満…………… ☁

## 業種別 業界の景況DI値

	業 種	前年同月比		前月比
製 造 業	食 料 品	▲37.5	☁	↗
	織 維 工 業	0.0	☁	→
	木 材・木 製 品	▲50.0	☁	→
	印 刷	▲50.0	☁	→
	窯 業・土 石 製 品	▲50.0	☁	→
	一 般 機 器	▲37.5	☁	→
	輸 送 機 器	0.0	☁	↗
非 製 造 業	卸 売 業	▲40.0	☁	↘
	小 売 業	▲28.6	☁	→
	商 店 街	▲33.3	☁	↗
	サ ー ビ ス 業	▲9.1	☁	→
	建 設 業	▲36.4	☁	→
	運 輸 業	▲14.3	☁	→
	そ の 他	▲100.0	☁	→



地区・業種を代表する県内組合の役職員の方から、毎月、業界の景気動向等に関する情報を収集・分析し、行政・関係機関に情報提供しています。

また、中央会ホームページ（<https://axis.or.jp/>）の「月次景況調査」にも掲載していますのでご活用下さい。

製 造 業	食 料 品	☂	○ 10月に入っても気温が下がらず食品関係の商材の動きが鈍いが、これから気温が下がり、鍋物等の需要が高まることに期待。最低賃金の上昇で人件費がかなり厳しくなるが、すぐには価格転嫁できない為、年内は薄利多売で取り組む予定。（水産食料品製造業） ○ 値上げの時期に関する問い合わせが増えてきている。前回の値上げから1年も経過しておらず、その背景には米の大幅な値上げがあると思われる。10月からベースアップに踏み切った為、年明けより再度の値上げに踏み切ることを予定している。（食料品製造業）
	織 維 工 業	☁	○ イベント用テント・ブース関係の受注が増え、売上也安定している。（帆布製品製造業）
	木 材 ・ 木 製 品	☂	○ 組合員7社の平均売上額は、前年同月比30%減であった。
	印 刷	☂	○ 10月は昨年同様の受注はあったものの、新規物件はなく、工場の稼働率も中旬までは上がっていたが、後半は仕事が切れて結果的には横ばいとなった。
	窯 業 ・ 土 石 製 品	☂	○ 10月からの最低賃金引き上げの影響で、仕入価格、原材料、運賃等のコストアップが予想される為、販売価格への影響を懸念している。（コンクリート製品製造業） ○ 10月の出荷量は前月比125%、前年同月比86%であった。（生コンクリート製造業） ○ ようやく気候が落ち着き、現場仕事の作業がしやすくなった。気候による仕事への影響を再度考え直し、従業員の健康管理に気を配る必要がある。（石工品製造業） ○ 10月は観光シーズンで、催し物も多く小売は順調であった。（陶磁器製品製造業）
	一 般 機 器	☂	○ 前月に続きコンビナート内では大型定修時期となり、組合企業は例年通り繁忙であった。一方、11月からは大型の修繕工事・設備投資などが減少する模様。（周南市） ○ 人材不足が続いている。自動車関連を中心に受注数減、受注単価低下、利益率低下となっており、非常に厳しい状況である。（防府市） ○ 厳しい状況でも何とか現状維持はしているが、新規の受注が減少傾向にある。（宇部市）
非 製 造 業	輸 送 機 器	☁	○ 鉄道車両関係の全体の受注量は減少傾向にあり、年間では大幅な受注減の見通し。2025年10月下旬からの台湾新幹線の受注に期待している。
	卸 売 業	☂	○ 前年同月とほぼ同等（微増）の売上を維持しているが、いりこの品質が悪くなっており、入札量及び購入量が減少し倉庫への入庫も減少している。また、物品や機械の老朽化が進み、交換や修理に掛かる費用が増大しており、収益は減少傾向にある。（乾物卸売業） ○ あらゆる物の価格高騰により販売価格は上昇しているものの、なかなか収益がついてこない。業界全体の景況は悪化している。（生鮮・魚介卸売業）
	小 売 業	☁	○ 売上は前年比3.3%の増加、売上客数は2.3%の増加であった。（各種商品小売業 萩市） ○ 県内の化粧品専門店の売上状況は前年と同等から微減の模様。新政権による物価対策で、今後、化粧品業界においても高額商品や限定コスメなどの価格が下がり、消費者の購買意欲が高まることに期待したい。（化粧品小売業 下関市）
	商 店 街	☂	○ 今年も秋が短く、猛暑予報が続いた後に急激な寒さが訪れるなど、四季に応じた商売は苦戦を強いられる状況になっている。（岩国市） ○ 飲食店の売上が減少している影響で、納品金額・量ともに減少している。見切り品など、安価な商品から売れていく傾向にある。（山口市） ○ 10月発売の商店街プレミアム商品券は過去一番の大盛況で、買物客が増加した。11月に控えているポイントシステムのリニューアルに向けて、広報を強化している。（下関市）
	サービス業	☁	○ 自動車整備業界では、人件費の上昇・各種経費増への対応が急務であるが、価格転嫁が思うように進んでいない。また、人材不足も極めて深刻な状況であり、今後は人材の確保・育成が重要となっている。（自動車整備業） ○ 10月も気温が高く、衣替えが進まず苦戦した事業者が多い。売上減と原材料費高騰により県外同業者の廃業が相次ぐ状況だったが、県内でも廃業が始まっている。（普通洗濯業） ○ 原油高及び電気代の高止まりにより、経費負担増となっている。未払金の支払いが不十分となり資金繰りが厳しい状況が続いている。（旅館業 長門市）
	建 設 業	☂	○ 10月の受注高は対前年同月94.6%、今年度の累計は対前年比87.0%。（一般土木工事） ○ 前月同様に同業他社の応援案件や小口工事で工場稼働率を確保しており、現場工事も重なる等、現状は忙しいという声が多い。一方、手持工事量は年内までの見込みで、年明け～3月までの見通しははっきりしていない状況である。（鉄骨・鉄筋工事業）
	運 輸 業	☁	○ 輸送の荷動きが芳しくない。特に中・長距離の輸送が減少しており、地場配送は若干の減少となっている。新規顧客獲得、値上げ交渉を継続する。（一般貨物自動車運送業） ○ 10月の取扱高は、前年比で14%増加したが、一昨年や最近での取扱高の傾向からは、平年並みと解される。また、人員不足は解消していない。（港湾運送業）
	そ の 他	☂	○ 深刻な人手不足や、物価上昇により収益が悪化している事業所が多い中、10月からの最低賃金が高額な引き上げが状況の悪化に拍車をかけている。（介護事業）



## 山口県左官業協同組合



有限会社  
スギモプラクト

下関市幡生町2-8-11

代表取締役 杉本 成弘

従業員数 10人

<https://sugimo-sakan.com/>



有限会社スギモプラクトHP

組合員企業の様々な取組事例について紹介します。

今回は、お城の真っ白な壁に代表される漆喰（しっくい）、建物の壁や床を塗り仕上げる左官工事を手がける「有限会社スギモプラクト」の取り組みをご紹介します。

### 「本物」を追求する信念

当社は昭和21年杉本工務店創業以来、80年を超える歴史を持つ左官のプロフェッショナル集団です。平成6年に法人化、現在の社名となりました。社名の『スギモプラクト』は、代表取締役である杉本氏の姓（スギモ）、接着剤を意味する『プラスター（Plaster）』、そして創造を意味する『クリエイイト（Create）』を組み合わせたもので、「杉本の技で創造する」という哲学が込められています。

杉本社長は先代からの「メッキは剥がれる。良い仕事をしろ」という言葉を受け継ぎ、「妥協しないこと」「いつも本物を求めていること」を揺るぎない信念としています。この信念が、一戸建て住宅から工場、学校、病院、マンション、ビルといった大規模建築まで全ての左官施工において、最高の品質を担保する根幹となっています。



社屋外観

### 左官のもつ空間の快適性とデザイン性

左官工事は、お城の壁に用いられる漆喰に代表されるように、建物を保護し、美しく仕上げる伝統技術です。近年、自然素材回帰の潮流の中で、特に漆喰や珪藻土などの自然素材の塗り壁が持つ機能的な価値（調湿性・断熱性等）が再認識されています。また、意匠の面においても、スギモプラクトは多様なニーズに対応します。現代建築で用いられるジョリパット仕上げ（写真 社屋外観）では、豊富なカラーバリエーションに加え、職人が鍔（コテ）でランダムに塗り上げることで、均質ではない自然なムラと柔らかい質感を持つオリジナルなデザインを実現します。紫外線や雨風に強く、ひび割れしにくい高い耐久性も特徴です。

### 技能承継への取り組み

左官職人が一人前になるには5年から10年の修練が必要とされる中、同社は正社員10名体制に対し、一級左官技能士7名の精鋭集団です。この技術力が、大手ゼネコンや厳しい品質基準が求められる大規模工事から、きめ細やかな意匠が必要な住宅工事に至るまで、安定した高品質施工を可能にしています。

杉本社長は山口県左官業協同組合の理事長および山口県左官技能士会の会長も務め、業界全体の未来を見据えた活動を主導しています。

近年、施工機会に限られる伝統的な漆喰左官仕上げの技能承継が課題となる中、同社が相談を受けた土蔵リノベーションの案件は、施主の協力を得て、県内に限らず県外の職人が参加する実践的な技能研鑽の場となりました。座学や競技大会では得られない、実工事ならではの段取りや工夫をベテラン職人が直接指導するこの取り組みは、若手育成に貴重な機会となりました。

加えて、組合員や職人たちは小学校等での出前授業や職業体験に積極的に参加し、「働くことの意義」や「左官という技の魅力」を次世代へ伝え、技能の伝承・承継に情熱を注いでいます。

スギモプラクトは、80年の歴史で培った確かな技術力と、次世代への技術承継を担うリーダーシップを併せ持ち、地域建築の未来を創造し続けています。

